



株式会社上坊工業

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間 2024 年4月1日～ 2025 年3月31日)



作成日： 2025年6月1日

更新日： 2025年10月25日



目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	12



口ごあいさつ

昭和・平成・令和と時が流れる中で、高度成長期からバブル時代の大量消費時代を経て、平成・令和と環境に対する意識は世界中に広がっています。ここ日本の中小企業も例外ではなく、環境を無視した経営では今後の発展は見込めません。

当社では、事業基盤を確立した、創業者上坊義夫の教えである「従業員を幸せにする」を軸に取引先や地域社会に貢献してきました。

今回、エコアクション21に取り組むことにより、当社の今までの取組を「環境への配慮」といった視点で見つめ直し、整理し新たな取組へとチャレンジします。

エコアクション21への取組が従業員を幸せにし、お取引先を幸せにし、自社の発展へと繋がり、地域社会への貢献につながる。そのような好循環をもたらすよにもと確信しています。

環境経営方針

<環境経営理念>

半世紀以上にわたりベアリングを供給し、日本のあらゆる産業を回し続けてきた「上坊鉄工所」から分社化し、2018年4月に「上坊工業」を立ち上げました。当社は「材料→ピーリング加工→切断→旋削加工」という独自の一貫システムが確立しています。本業である金属加工を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

お客様に喜んでいただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社が一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 化学物質について適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した製品をお客様にお届けします。
7. 一貫加工の推進と加工技術向上のたゆまぬ努力によって企業価値の向上に努めます。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2020年10月1日

代表取締役社長 上坊 昭博

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社上坊工業

代表取締役社長 上坊 昭博

(2) 所在地

本社・工場 大阪府河内長野市上原町529番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役事務長 上坊 真由美 TEL：0721-52-3562

担当者 取締役事務長 上坊 真由美 TEL：同上

(4) 事業内容

ピーリング・ベアリング部品加工

(5) 事業の規模

売上高 342 百万円 (2024年度)

		本社・工場
従業員	名	26 名
延べ床面積	m ²	1283.94 m ²

(6) 事業年度

4月1日～3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社上坊工業

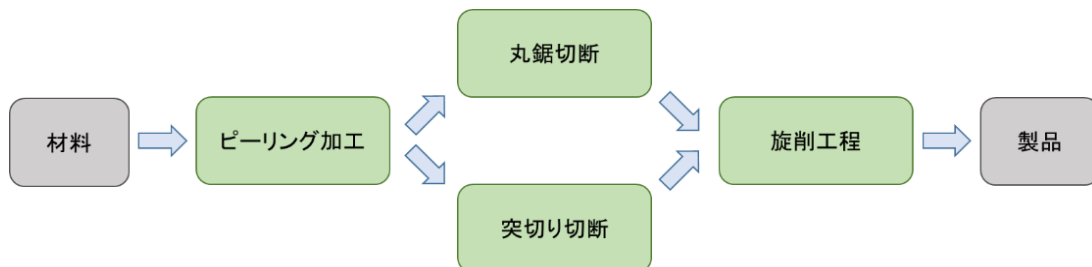
対象事業所：本社・工場

活動：ピーリング・ベアリング部品加工

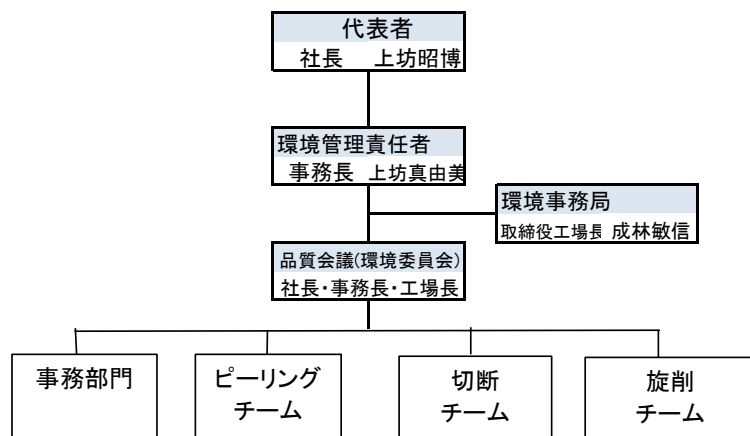
□事業や製品(商品)の紹介

部品の製造工程において旋削工程にのみ効率化を求めるのではなく、材料からピーリング加工→切断→旋削を一貫対応することにより、さらなる効率化を追求。これは日本国内でも唯一の先進的な取り組みとして、取引先であるベアリングメーカーから高い評価をいただいております。

特にピーリング加工は、自社で加工するベアリングレースの精度向上を目的に、「精度・真円度・変形差・曲り」にことごとこだわった高精度な加工を実現しています。私どもがピーリング加工を施した長尺材は、超大型建機のパネ材、大型工作機械のボールネジ、航空貨物輸送機のシャフトやF1マシンのエンジン部品にまで採用されており、精密部品加工の材料として大きな可能性を有しています。



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長) 上坊昭博	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 事務長/上坊真由美	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境経営の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局 化学物質管理責任者 保護具着用管理責任者 工場長/成林敏信	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、品質会議(環境委員会)の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境経営の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
品質会議(環境委員会)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境経営実績の確認・評価
部門長 工場長/成林敏信	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量※	kg-CO ₂	263,763	251,003	260,247
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	2,200	2,100	1,340
産業廃棄物排出量	kg	276,480	240,980	280,250
水使用量	m ³	263	274	240

※二酸化炭素排出係数 0.318 kg-CO₂/kWh 関西電力・2019年度・調整後

※灯油による排出量を含む

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2024年		評価	2025年	2026年
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	156,595	153,463	152,525	○	150,331	148,765
	基準年度比	2023年	98%	97%		96%	95%
	原単位	kWh/千円	1.327	1.300	1.401	×	1.274
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	58,867	57,690	74,659	×	56,513	55,924
	基準年度比	2023年	98%	127%		96%	95%
	原単位	kg/千円	0.053	0.052	0.073	×	0.051
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	22,640	22,187	18,891	○	21,961	21,734
	基準年度比	2023年	98%	83%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	238,102	233,340	246,074		228,804	226,423
一般廃棄物の削減	kg	2,100	1,953	1,340	○	1,953	1,890
	基準年度比	2023年	93%	64%		93%	90%
切粉等の廃棄物削減	kg	240,980	236,160	280,250	×	236,160	236,160
	基準年度比	2023年	98%	116%		98%	98%
水道水の削減	m ³	274	269	240	○	269	269
	基準年度比	2023年	98%	88%		98%	98%
化学物質の適正管理	kg	2,388	2,388	613	○	2,341	2,341
	基準年度比	2023年	100%	26%		98%	98%
環境に配慮した生産活動 一貫加工の推進と加工技術向上 地域や関係団体の環境活動への積極的参加		行動目標(次項による)					

※灯油を削減目標としない理由：使用量が少量の為

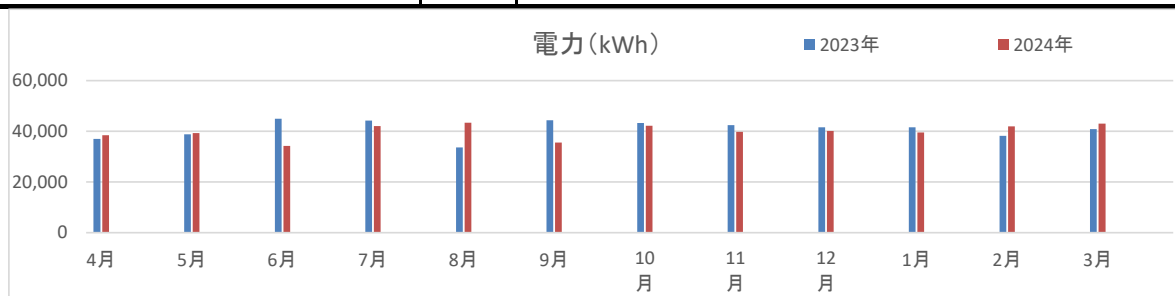
※2022年8月に新工場を建築しLPG空調システムを導入したため基準年度を2023年度実績値に変更

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成

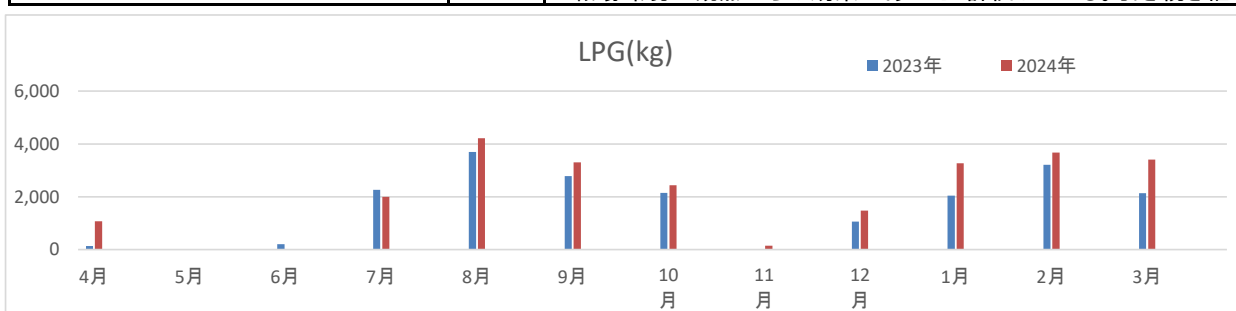
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	稼働日数(受注量)に大きく影響されるものの、1年を通じて目標に対して97%となった。節電意識の定着による効果と考えられる。引き続き次期も節電に取り組んでいく。
・事務所・工場などの不必要時の消灯	○	
・使用頻度の低い施設での使用時のみの点灯	○	
・空調の適温化(冷房28℃程度、暖房20℃程度)	○	
・空気圧縮機の低圧化	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検(ISO9001と連動)	○	



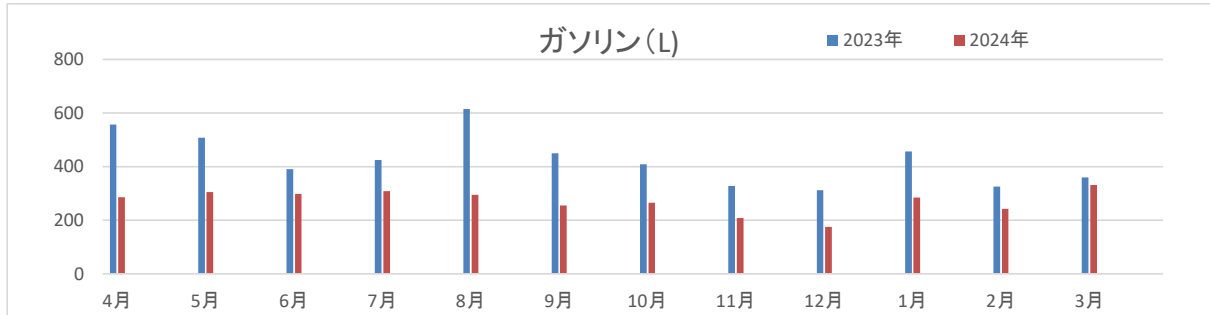
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	36,982	38,763	44,921	44,207	33,676	44,383	43,228	42,469	41,594	41,594	38,182	40,804
2024年	38,454	39,255	34,241	42,050	43,446	35,509	42,202	39,764	40,165	39,486	41,992	43,073

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	例年以上に暑い日が続き、工場内温度を必要以上に下げないよう温度設定管理をしたものの年間通じて利用量は増加し127%となった。ただ、以前の様に暑さの影響で作業効率が落ちる事は無く働きやすい職場環境の観点からは効果があったと評価している。引き続き
・工場内温度の適正化	○	
・酷暑時期の勤務時間の柔軟化	○	

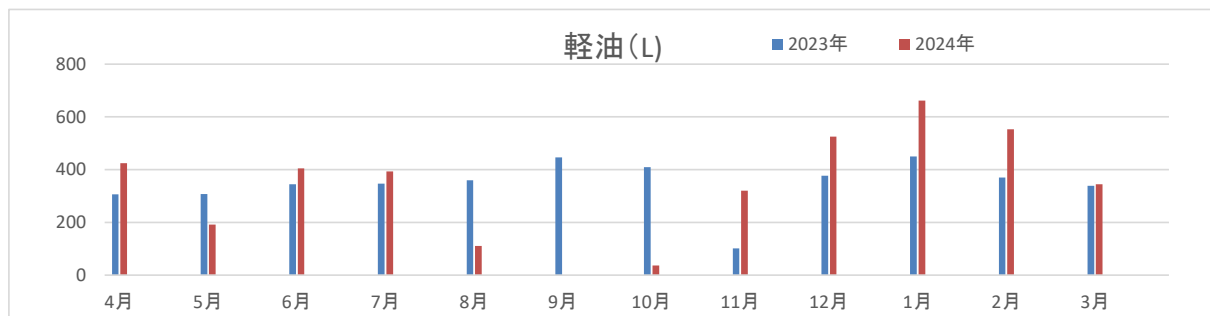


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	132	0	202	2,265	3,693	2,781	2,151	7	1,064	2,044	3,211	2,139
2024年	1,076	0	0	1,992	4,217	3,296	2,430	150	1,475	3,262	3,667	3,404

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	配達の効率化に取り組んだ結果基準年に対して83%となった。 引続き次期も配達の効率化に取組エコドライブを心掛ける。
・エコドライブなど運転方法の配慮	○	
・発注・輸送（納品・引き取り）の計画化・平準化	○	

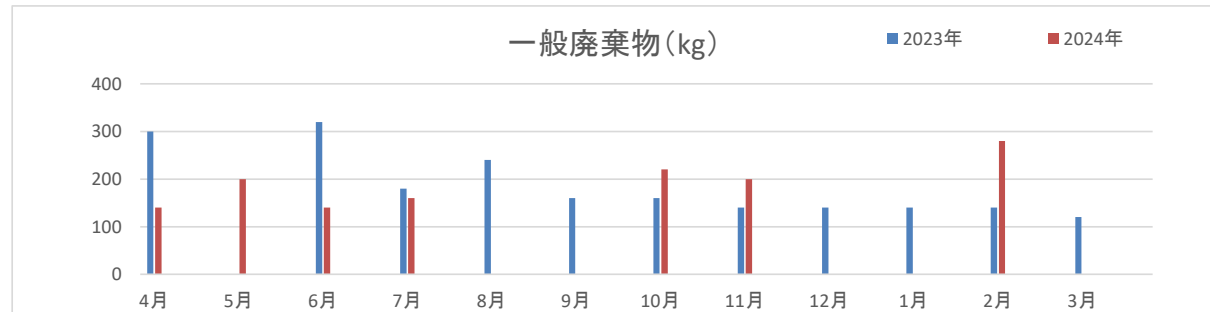


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	557	508	391	425	615	450	409	328	312	457	326	360
2024年	285	305	298	309	294	255	265	208	176	285	242	331



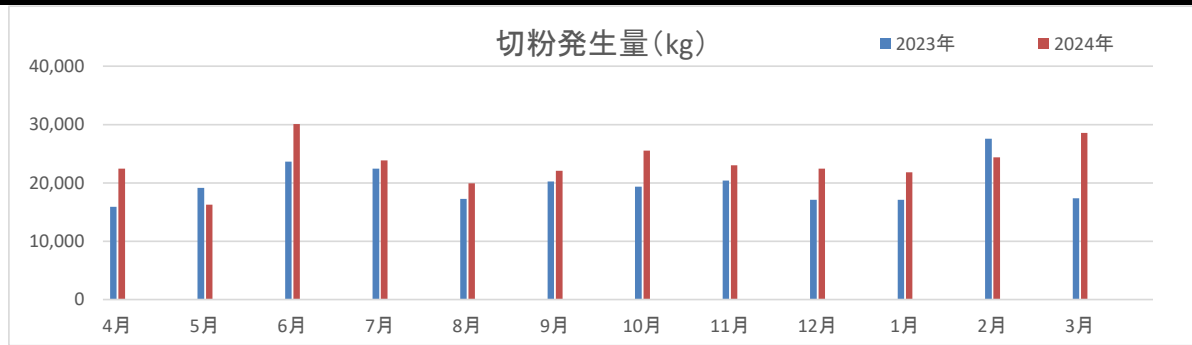
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	306	307	344	347	360	447	409	101	377	450	370	339
2024年	424	192	404	394	111	0	36	320	525	662	553	345

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	適時、工場内の一般廃棄物の廃棄処分を継続し、3S活動の定着により新たな廃棄物も必要最低限のレベルにある。 次期も現状を維持していく。
・会議時等でのペーパーレス化に取り組む	○	
・工業用雑巾の古着再利用	○	
・3S（整理・整頓・清掃）活動を実施	○	



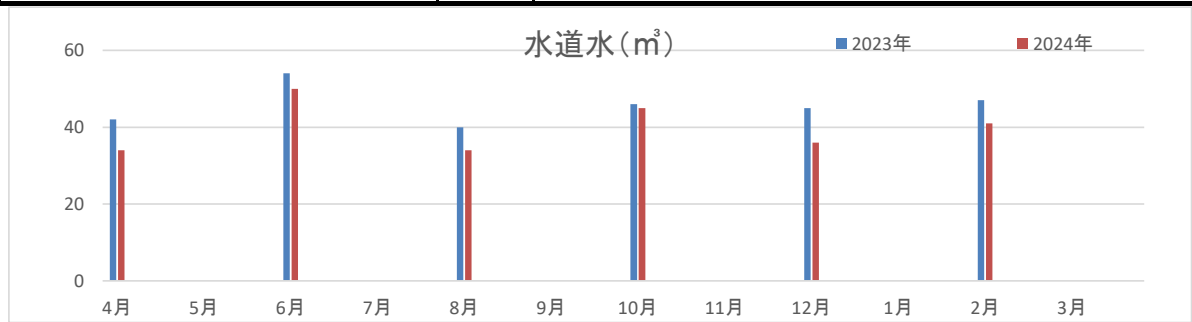
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	300	0	320	180	240	160	160	140	140	140	140	120
2024年	140	200	140	160	0	0	220	200	0	0	280	0

切粉等の廃棄物削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	ピーリング部門では削り代の多い受注が増加した結果基準年度に対して116%となった。取引先には省資源につながる提案を継続している。
・材料取りや設計の見直し	△	
・生産工程の歩留まり向上	△	
・加工ミスによるロス削減	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	15,870	19,140	23,660	22,440	17,240	20,220	19,370	20,390	17,120	17,120	27,570	17,380
2024年	22,420	16,270	30,060	23,830	19,900	22,070	25,530	23,000	22,430	21,820	24,370	28,550

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	社内での節水掲示などの効果により目標を下回った。引き続き節水に取組んでいく。
・節水呼びかけの表示	○	
・日常的に節水を励行	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	42	0	54	0	40	0	46	0	45	0	47	0
2024年	34	0	50	0	34	0	45	0	36	0	41	0

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	切削油の希釈割合の見直し、徹底した事により使用量が大幅減少した。次期も取組を継続していく。
・化学物質のSDSによる管理	○	
・「化学物質リスクアセスメント」の実施による安全対策	○	
・代替物質の検討	△	

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・材料取りや設計の見直し	○	いずれの活動も日常的に取組みを進めた。加工ミスが生じた場合は再発防止策を関係者で検討し実行し再発防止に努めている。引き続き活動していく。
・生産工程の歩留まり向上	○	
・加工ミスによるロスの低減	○	
・預り資産(鋼材)の適正管理(ルール)の策定	○	
・通い箱の活用	○	

取組紹介欄



新工場建設前の様子(不回転材や要廃棄物であふれていた)



完成した新工場。不回転材や要廃棄物が無くなり工場敷地内の整理整頓が進んだ。

一貫加工の推進と加工技術向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・ウェブサイト上に環境活動情報を提供	×	ウェブサイト上への環境活動情報は掲載できず。再構築補助金事業に関連して、更なる効果が見込める生産設備の導入について社内検討を進めている。引き続き活動していく。
・「事業再構築補助金」への取組	○	
・生産工程の見直しと働き方改革の実施	△	
・加工技術等の教育・伝承	△	
・SDG'sの社内啓発	○	

地域や関係団体の環境活動への積極的参加	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・地域商工団体勧業展や環境フェア等への参加	×	地域一斉清掃活動等へ参加するとともに日常において弊社への入口周辺道路や敷地内の美化に努めました。引き続き活動していく。
・地域環境活動への参加及び敷地内美化活動	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃油・汚泥）
騒音規制法、振動規制法、大阪府生活環境条例	空圧機、集塵機
フロン排出抑制法	業務用空調機
労働安全衛生法	SDS義務のリスク評価
自動車NO _x ・PM法	4ナンバートラック
NTNグリーン調達基準	納入部品
消防法（危険物）	圧縮アセチレンガス・LPG等
その他の要求事項	顧客監査、アンケート



環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

特にありません

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024年9月9日実施	■実施場所 本社工場内
■参加者： 社員全員	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 (2024年9月9日実施分) 朝の朝礼時に、①消火器の設置場所の確認及び使い方のデモ ②緊急事態発生時の緊急停止ボタンの位置の確認	
■評価：	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
前年度に続き2024年9月9日の朝礼時に社員全員で訓練を実施。消火器の位置確認、緊急事態発生時の停止ボタンの確認、ブレーカーの位置や落とし方などを再度確認し全員で共有した。	
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日:2025年10月15日

【前回の指示への取組結果】

◇環境方針

【前回の指示】BCPの確立を提案→【取組結果】前期に着手できず、引き続き検討
具体的な指示内容は以下

評価項目のコメント表(A判定:改善事項)

コメントNo.	改善事項または改善すると良い事項	A判定項目における対応策(協議内容)
A-1	顧客側の安全安心な契約とグリーン調達、かつ社員の安全安心に寄与するためのBCPの確立を提案します。 (参考資料:大阪府従業者BCP実行カード等の事例)	検討します。
	以下余白。	

2021年9月15日のエコアクション21の認証を取得しました。取得のためのATCグリーン化プログラムへの参加や、取得に必要な取組を進める中で、環境に対する意識が高まり、新工場建築に向けた社内プロジェクトが始まりました。

新工場建築に向け事業再構築補助金に挑戦し、2021年6月に採択を得て、2021年度内にスタートさせ、永年の課題であった工場敷地内に長年に渡り放置されていた大量の不回転材の撤去を実現し、撤去場所に建築予定地を確保しました。2022年4月に新工場を完成させました。新工場建設を機に、工場全体の加工工程を見直し効率的なレイアウトを実現、今まで取組む事が出来なかった小型・軽量化の一貫加工を推進しています。
また、労働環境の改善と環境に配慮した燃料の使用の観点から「旋削工場棟」にLPガス空調を7月に導入、新工場にも11月に導入しました。その後も労働環境の改善に努めており、2025年夏季にピーリング工場に空調設備の導入、開閉時の空調管理を目的としたカーテンの設置なども進めています。

電力負荷の高い太径の加工依頼の増加に加え、新工場の建築、機械の増設、人員の増加(当初エコアクション取組み時23人→現在26名)などの影響から電気使用量は増加しています。2023年度は暫定的に2019年度を基準とし目標設定を行い計画実施しました。2024年度はLPG空調システムを導入後の2023年度の実績値をもとに目標数値の見直しを行いました。社内のエコ意識の高まりから多くの項目において目標数値を下回る結果となりました。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり 現状に即した目標設定を検討
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

・今期の取組み

- ① エコアクションの取組を掲示を継続している。また同場所に会社方針を掲示、社員の意識向上をはかり一体感を醸成。

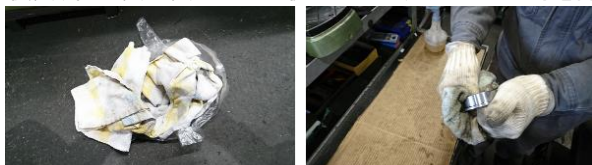


- ② 安全管理の一環でヘルメット着用のポスターを社内の掲示板に掲示。着用の徹底をはかっている。



・従来からの取り組み事例(継続中)

役員、従業員全員で自宅を使い古した、服やタオル等を持ち寄り油などを拭くウエスとして再利用しています。



・利用時のみの電気利用の徹底(継続中)

従業員食堂も今までにまして未利用時の消灯を社員全員が気をつけるようになっています。



□編集後記

2022年8月から本格稼働させたガス空調により、2024年度は社内労働環境は大幅に改善しました。しかしピーリング部門の工場は開口部は広く空調が効きづらく対応が遅れており部門間の労働環境の差異が生じてしていました。2024年度終了後の2025年の夏は観測史上最高の暑さであり、課題であったピーリング部門の暑さ対策にも本格的に着手しました。徐々にですが社内環境の整備を進め、より働きやすい労働環境を整えています。エコアクションの取組が労働環境に改善や安全管理などにも目を向ける事になり、会社の発展につながると感じています。